

# 医学教育カリキュラム検討会(第3回) 事務局提出基礎資料

文部科学省高等教育局医学教育課



平成21年2月27日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

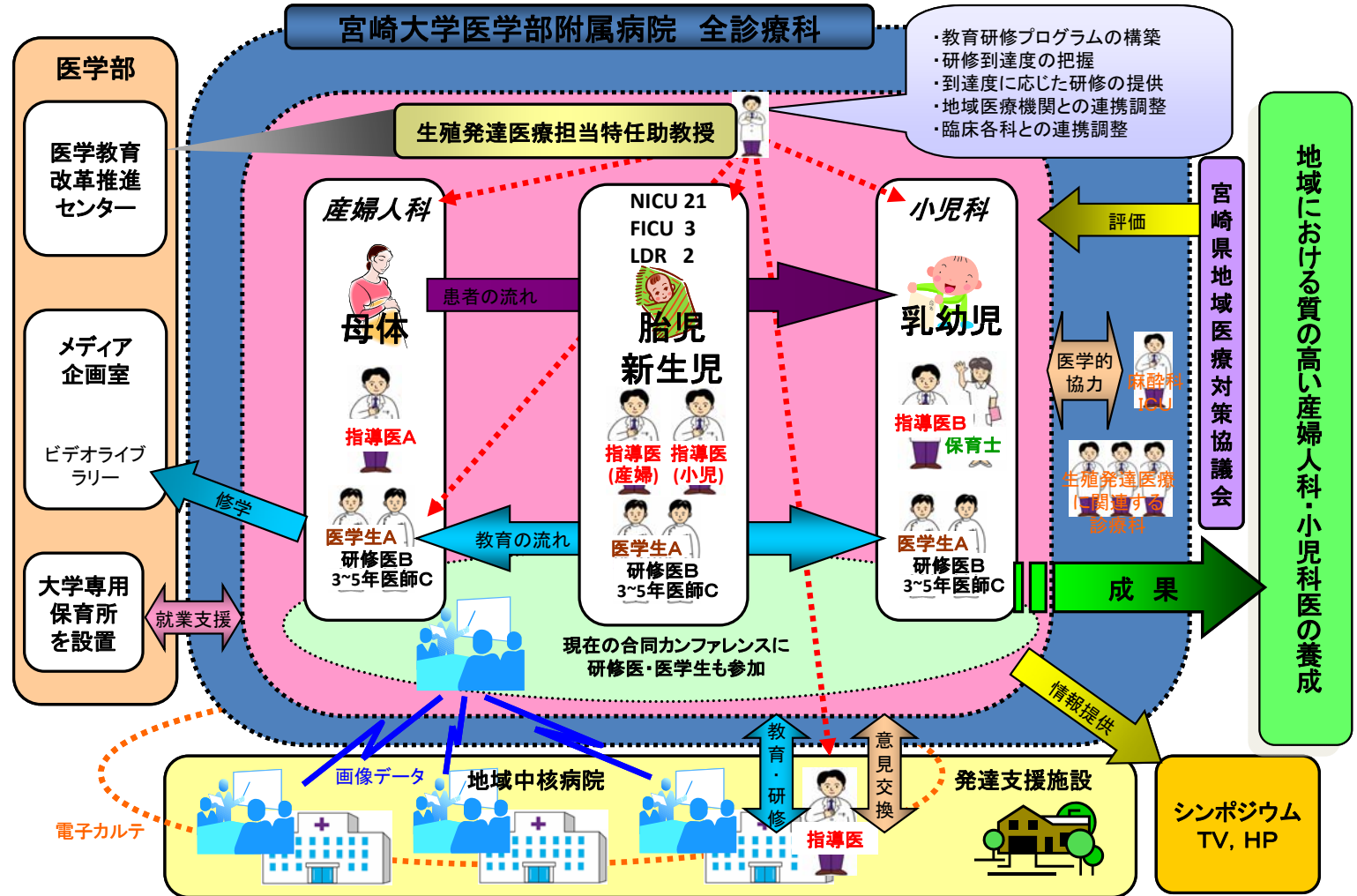
# 産科・小児科・周産期等の医療を担う医師の 養成に関する取組例

# 産科、小児科、周産期等を担う医師養成に関する取組例

## ①宮崎大学「産婦人科医小児科医が連携した医師養成プログラム」(医療人GP選定(H18-20))

一般目標: 人の誕生から成長に関わる生殖発達医療の魅力を医学生・研修医に伝える

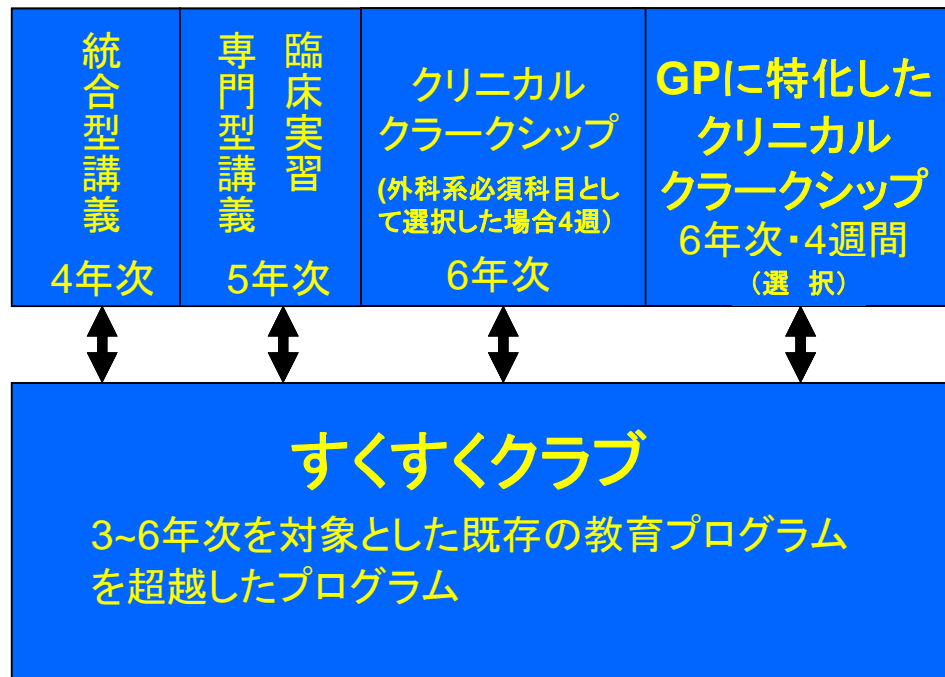
- 行動目標
- 胎児期から乳幼児期にいたる一連の成育医療の過程を円滑に学べる横断的教育体制を構築する。
  - 医学教育において地域医療との連携を図る。
  - 教育、研修用の資料を作成する。



## 横断的教育・研修プログラムの作成

- ・ 生殖発達医療担当特任准教授の配置
- ・ GPに特化したクリニカルクラークシップおよび卒後研修
- ・ 生殖発達医療を学ぶための課外教育体制（すくすくクラブ）の設立

## 卒前教育



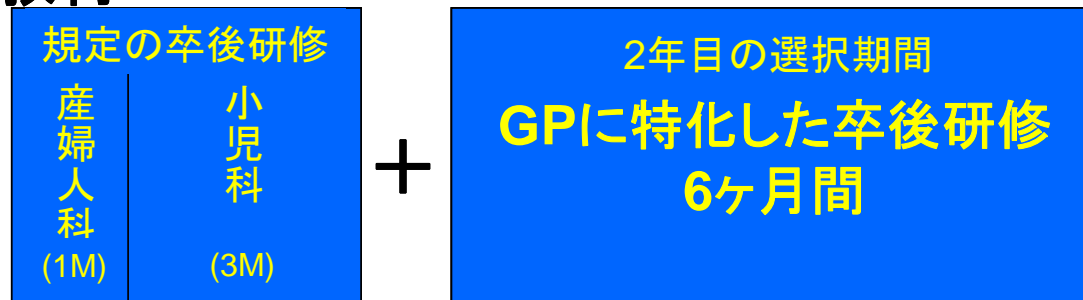
## すくすくクラブの設立

(生殖発達医療を学ぶための課外教育体制)

医学生のあいた時間にいつでも周産期医療を学べる学習体制を作る。

- ・ 周産母子センターでの実習は24時間受け付ける。
- ・ チュートリアル教育(PBL)の実践
- ・ すくすく豆知識の発行
- ・ 周産期医療の専門家との交流
- ・ 学外施設での実習
- ・ 他大学との交流

## 卒後教育

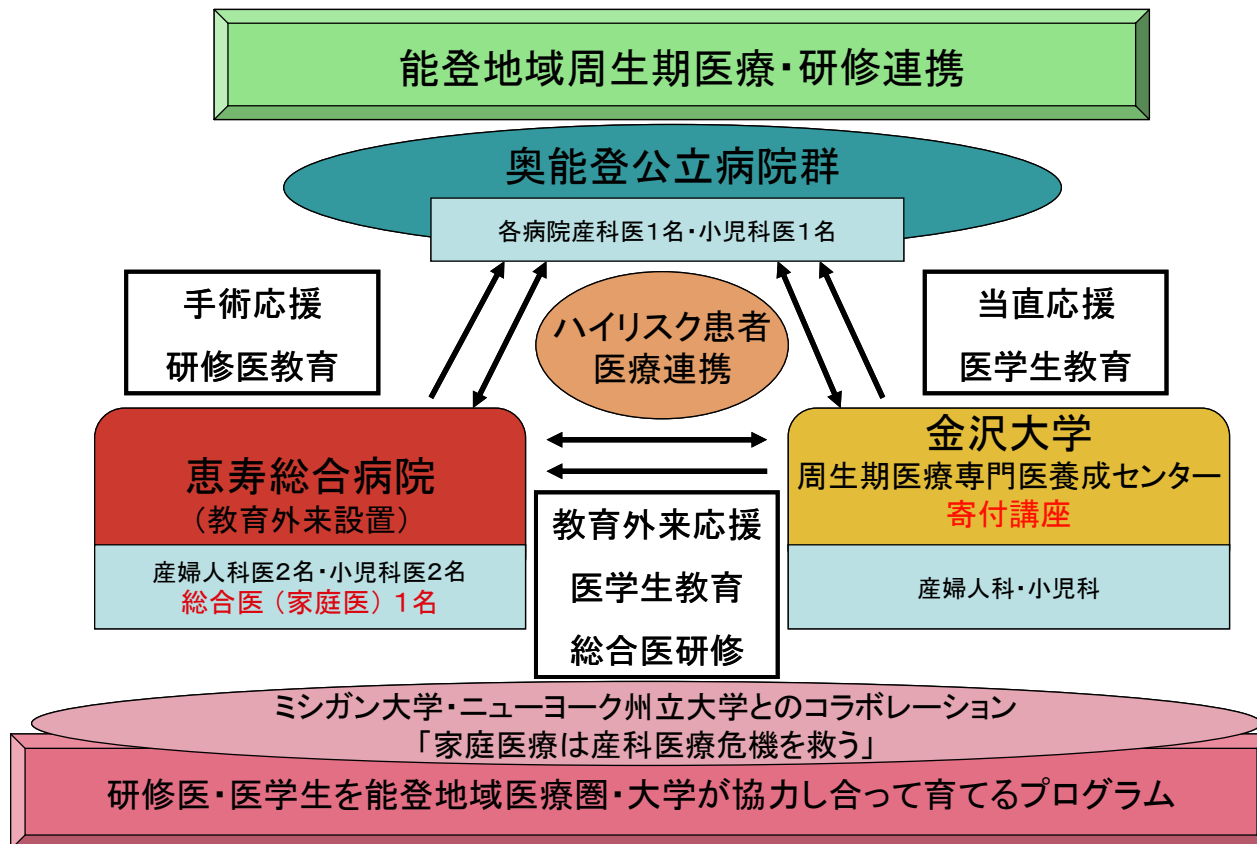


## ②金沢大学「周産期医療専門医養成支援プログラム」（医療人GP選定（H18-20））

生命と向き合う周産期医療に“志”のある医学部学生を公募・選抜し、  
指導教員・研修医とともに研修チームを編成して石川県内外の病院を循環する合宿研  
修に加え海外提携病院で短期研修を行う循環型合宿研修、  
及び卒後研修医に周産期医療領域の教育研修を行う周産期医療専門医養成研修

臨床現場での先輩医師との関わりを今まで以上に密にし、臨場感を持って周産期医療  
を学び専門医として養成していくための研修体制

### <周産期アクションプラン>



# 平成21年度医学部入学定員増に関する各大学の取組例

学部教育から専門医研修までの一貫したプログラムにより、小児科、産科等の医師養成

(山形大学)

- 診療科選択を開始する学部4年生を対象とし、医師不足が深刻な産科、小児科、救急、外科を対象とした専修コースを新設し、大学とともに地域病院で学部教育、臨床研修、専門医研修までを一貫した教育を行い、これらの診療科の地域医療を担う医師養成を目指す。

小児・産科・救急医療等へ進むきっかけを与える機会等の充実

(信州大学)

- 「生命誕生の喜び」体験実習や「子育て体験・乳児発達観察」実習など、小児・産科・救急医療等へ進むきっかけを与える機会を早期に設けるとともに、これらの診療科に重点化した臨床研修プログラムの新設等を通して、これらの診療科を地域で担う医師の養成を目指す。

診療科横断的な教育・研修プログラムの充実

(九州大学)

- 産科、小児科、小児外科を中心とした横断的な組織により周産期専門医を育成する周産期医学教育・研修プログラムの充実を図るとともに、学部教育の「周産期チーム医療」で一貫した診断・治療学を学ぶ機会や「保育所体験実習」で直接小児に触れ合う機会を学生に提供することにより、周産期医療の動機付けを図り、当該分野を担う医師の養成と確保を目指す。

大学と教育関連病院との連携による集中的教育プログラムの充実

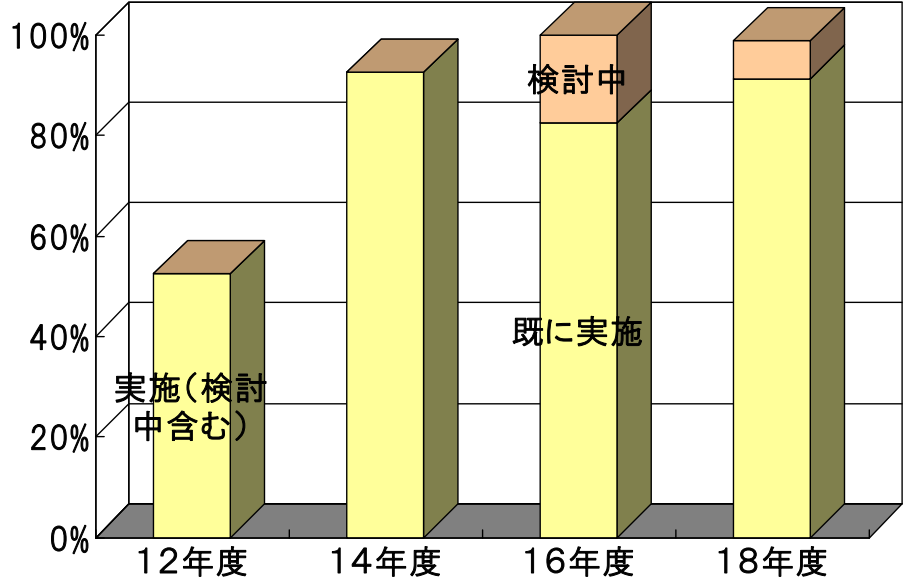
(大阪医科大学)

- 大学と教育関連病院との連携による内科、外科、産婦人科、小児科、救急・麻酔科の集中的な実習プログラムや臨床研修の特別コースを設置するとともに、これらの診療科を希望する学部学生に対して奨学金を支給し、これらの診療科で活躍できる医師の養成と定着を目指す。

# 臨床教育の充実に関する取組

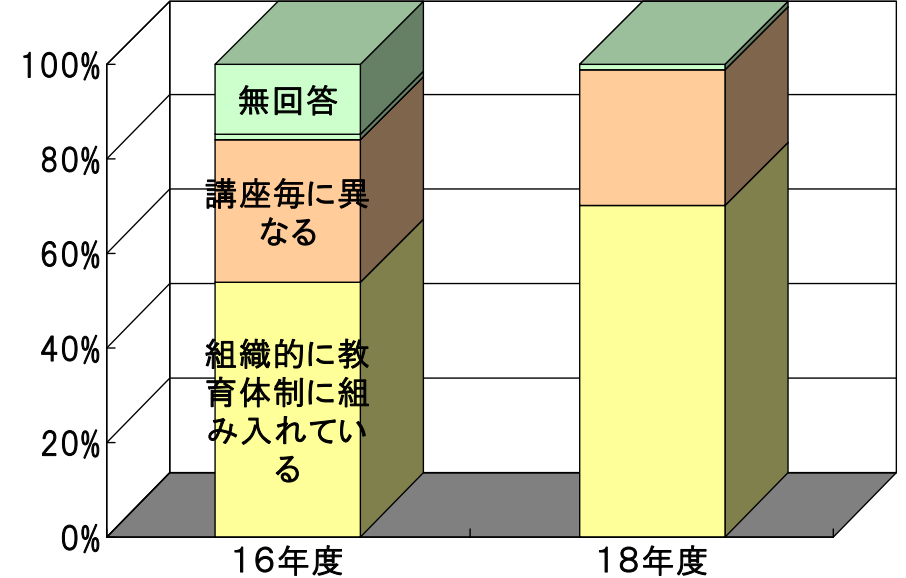
# 臨床実習の取組

## 【診療参加型臨床実習の実施状況】



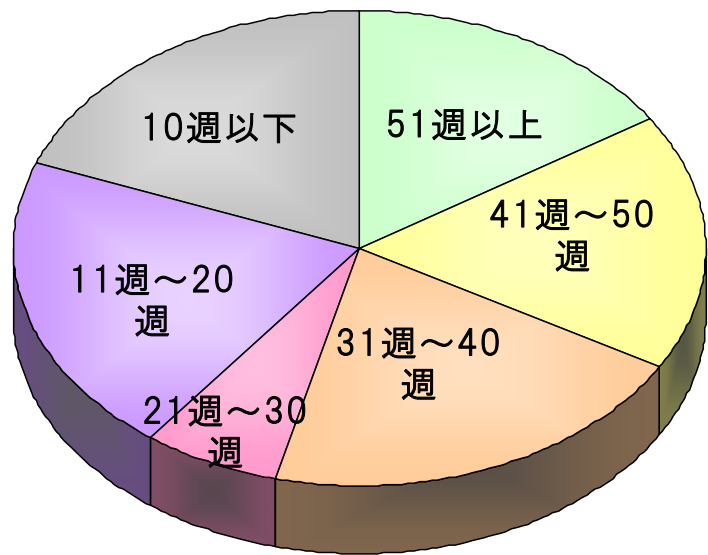
※「検討中」:平成16年度調査から加わったもの

## 【診療参加型臨床実習の取組状況】



「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

## 【診療参加型臨床実習の全実習時間】



回答のあった63大学の週数別内訳(平成18年度)

「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)」

## 【診療参加型臨床実習の導入状況】

	該当大学数
臨床実習を行う全ての科で導入	52
内科や外科などの主な臨床実習実施科で導入	13
一部の臨床実習実施科で導入	12
導入していない	2

「平成19年度医学教育カリキュラムの現状」(全国医学部長病院長会議)



# 学生の医行為の取扱いについて

## 【学生の医行為に関する水準の設定状況】



## 【学生の医行為の水準設定に際して参考にした基準】

	該当大学数
a)平成3年厚生省基準*	32
b)平成13年モデルコアカリキュラム基準	10
a)とb)の両方	26
その他	9

\* 臨床実習検討委員会最終報告

「学生の医行為の水準設定に関して「はい」「検討中」と答えた大学を対象

「我が国の大学医学部(医科大学)白書(全国医学部長病院長会議)

## 【臨床実習中の学生の安全管理対策】

	該当大学数
マニュアルが刊行されている	36
事前に学習枠を設けて学習している	36
保険制度に加入している	76
ワクチン摂取を行っている	77

「平成19年度医学教育カリキュラムの現状」(全国医学部長病院長会議)